



第45回鳥取しゃんしゃん祭 参加レポート

8月8日(土)9日(日)、鳥取市の夏の風物詩「第45回鳥取しゃんしゃん祭」に、本学学生106名と同窓生(鳥取環境大学同窓会Re;TUES会員)27名が「鳥取環境大学連」として参加しました。「鳥取しゃんしゃん祭」は、江戸時代末期の雨乞い踊りを起源として鳥取県東部地方に伝わる「因幡の傘踊り」を民謡「きなんせ節」に振り付けられることによって、一般向けにアレンジした踊りが創作されたのを機に、昭和40年に始まった市民祭りです。

そのしゃんしゃん祭に、開学以来毎年「連」を組み本学学生は参加してきました。今年は学生の参加申し込みが最も多く、毎年運営をしている私達としては勢いのあるスタートを切ることができました。特に今年度は初めてしゃんしゃん祭に参加するという学生が多く、本学学生の鳥取の文化に対する興味・関心が高まったことの表れだと思います。同時に新たな鳥取の楽しみを見つけ、来年度もさらに盛り上げてくれると期待しています。

今年度は練習時間を多く取り、踊り子リーダーを中心に前年の問題点を話し合い、練習内容や振り付けの指導方法などの改善を行いました。なかなか練習に参加できない学生も必死に自主練習をしてくれて、祭り当日に向けて地道ながらも確実に学生の踊りは上達していきました。例年本学の定期試験期間としゃんしゃん祭の時期が重なるため、最も大事な全体練習の日程に苦勞するのですが、それにもかかわらず時間を割いて練習に参加してくれて、学生の祭りにかける思いが分かりました。本番1週間前になるとほぼ全員が

集まり、隊列を組み同じ練習をすることで統一感が増し、コミュニケーションもとれて一層まとまりのある連に成長しました。

祭りの日程は8月8日・9日と、しゃんしゃん祭始まって以来はじめての2日間開催ということもあり、当日の着替え・打ち上げ会場の確保に手間取りましたが、地域の方のご好意もあり何とか100名を超える学生のサポートをする事が出来ました。踊り内容も基本踊りの「きなんせ節」と「鳥取しゃんしゃん傘踊り」に重点を置いた流れになっていたため、一斉美を目的とした見ごたえのあるものを目標に据えて練習を進めました。一斉傘踊りはどちらか1日の参加が求められていたため私達の連は8日(土)の方に参加しました。



祭り当日は天候に恵まれ、出陣式では八村理事長、古澤学長、西田就職担当参与から激励の言葉を頂戴し、総代の掛け声で学生の意気を高め踊りに向かうことが出来ました。パレードが開始されると踊り子が全員一丸となり、大きな掛け声と共に若桜街道と智頭街道を踊り歩きました。残念ながら祭り1日目の8日にはコンテストによる評価はありませんでしたが、鳥取環境大学の元気な姿を見てもらえ、踊り子達も例年以上に大きな声で楽しそうに踊っていて、見ている人にも楽しんでもらえ目標が

達成できたと思います。さらに、鳥取環境大学連独自の「ゴミ拾い隊」23名も活躍し、今年は連の前後に分かれて沿道のごみを回収分別して環境大生らしく環境美化に努めました。沿道から暖かい声援も送って頂きました。

今年もしゃんしゃん祭に参加し、無事に終えることが出来ました。毎年、踊り終わった学生からとても楽しかったと感想をもらいます。それは練習中から本番まで踊り子を先導してくれたリーダー、踊り子やゴミ拾い隊の努力があったからこそ得られるいい思い出なのだと思います。そして常に苦勞しサポートに回ってくれた委員会メンバーの頑張りの賜物です。最後に、毎年しゃんしゃん祭への参加を支援して頂いている同窓会並びに大学関係者の皆さまに心から感謝申し上げますと共に、今後の活動においても引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

年に一度のしゃんしゃん祭が、参加してくれた全ての方にとって夏の良き思い出となりますように、そしてこの感動がこれからも鳥取環境大学を盛り上げていくように願います。

TUESしゃんしゃん愛好会 委員長
石破 聖巳(環境政策学科3年)



環謝祭

10月10日(土)11日(日)の両日、第9回鳥取環境大学大学祭「環謝祭」が開催されました。環謝祭実行委員会が主催し企画立案した各種イベントや、本学の先生方の研究発表、「よしとお笑いライブ」、地元のパンド「キッチンバンド」による「キッチンバンドライブ」などを催しました。また実行委員会が企画したものだけでなく、「社団法人ハーモニーカレッジ」様からの「引き馬」や「鉄筋彫刻家」として有名な「徳持耕一郎」様からの作品展示を依頼し、2日間大きな事故もなく



無事に終了することができました。

大学祭において環境活動を実施すべく、毎年恒例となっております模擬店でのリターナブル食器の使用を義務付け、ゴミの分別を行い、環境への配慮に力を入れました。また、ステージでは「エコビンゴ」「ペットボトル分別競争」を催し、地域の皆様とともに環境について楽しみながら学んでいただくことができ、特に子どもさんに喜ばれるイベントとなりました。

今年のテーマは「一期一笑」。今回は学園祭というものを振り返り、学生だけでなく、来ていただいたお客様にも楽しんでいただくことを目標にし、また学生とお客様と一緒に笑いあえる学園祭にしようということで、このテーマに決定しました。

特に「鉄拳・くまだまさし」による「よしとお笑いライブ」、鳥取環境大学の各場所にヒントの看板を設けた「環大クイズ」は、本学学生のみならず、多くの地域のお客様にご参加いただき、学生とお客様と一緒に笑いあえる大学祭となり、多くの学生が大学での良き思い出の一つになったのでは

ないかと思えます。

今回も私も実行委員会に限らず、学友会執行部、スタッフ、司会として参加していただいた本学学生の皆様、学長や理事長をはじめご支援して下さった教職員、卒業生、地域の皆様など、環謝祭に関わって下さったすべての方々へ心より感謝を申し上げます。

来年もどうぞこの「環謝祭」にご期待くださいますようお願い申し上げます。

環謝祭実行委員会 委員長
神谷 隼人(環境政策学科2年)

